

花粉症対策 初期集中対応パッケージ

令和5年10月11日 花粉症に関する関係閣僚会議決定

- 未だ多くの国民を悩ませ続けている花粉症問題の解決に向け、来年の花粉の飛散時期を見据えた施策のみならず、今後10年を視野に入れた施策も含め、花粉症解決のための道筋を示す「花粉症対策の全体像」を取りまとめ（本年5月30日）。
- 来年の花粉の飛散時期が近づく中、「花粉症対策の全体像」に基づき、発生源対策、飛散対策及び発症・曝露対策について、「全体像」の想定する期間の初期の段階から集中的に実施すべき対応を本パッケージとして取りまとめ、その着実な実行に取り組む。

1. 発生源対策

●スギ人工林の伐採・植替え等の加速化【林野庁】

本年度中に**重点的に伐採・植替え等を実施する区域を設定**し、次の取組を実施

- ・スギ人工林の**伐採・植替えの一貫作業**の推進
- ・伐採・植替えに必要な**路網整備**の推進
- ・意欲ある林業経営体への**森林の集約化**の促進

●スギ材需要の拡大【林野庁・国土交通省】

- ・木材利用をしやすくする改正**建築基準法の円滑な施行**（令和6年4月施行予定）
- ・本年中を目処に、国産材を活用した**住宅に係る表示制度を構築**
- ・本年中を目処に、**住宅生産者の国産材使用状況等を公表**
- ・建築物への**スギ材利用の機運の醸成**、住宅分野における**スギ材への転換促進**
- ・大規模・高効率の**集成材工場、保管施設等の整備支援**

●花粉の少ない苗木の生産拡大【林野庁】

- ・国立研究開発法人森林研究・整備機構における**原種増産施設の整備支援**
- ・都道府県における**採種園・採穂園の整備支援**
- ・民間事業者による**コンテナ苗増産施設の整備支援**
- ・スギの未熟種子から花粉の少ない**苗木を大量増産する技術開発支援**

●林業の生産性向上及び労働力の確保【林野庁】

- ・意欲ある木材加工業者、木材加工業者と連携した素材生産者等に対する**高性能林業機械の導入支援**
- ・農業・建設業等の**他産業**、施業適期の異なる**他地域**や**地域おこし協力隊**との連携の推進
- ・**外国人材**の受入れ拡大

2. 飛散対策

●スギ花粉飛散量の予測

来年の花粉飛散時期には、より精度が高く、分かりやすい花粉飛散予測が国民に提供されるよう、次の取組を実施

- ・今秋に実施するスギ雄花**花芽調査**において民間事業者へ提供する**情報を詳細化**するとともに、12月第4週に調査結果を公表【環境省・林野庁】

- ・引き続き、航空レーザー計測による**森林資源情報の高度化**、及び、その**データの公開**を推進【林野庁】

- ・飛散が本格化する3月上旬には、スーパーコンピューターやAIを活用した、花粉飛散予測に特化した詳細な**三次元の気象情報を提供**できるよう、クラウド等を整備中【気象庁】

- ・本年中に、**花粉飛散量の標準的な表示ランクを設定**し、来年の花粉飛散時期には、この表示ランクに基づき国民に情報提供されるよう**周知**【環境省】

●スギ花粉の飛散防止

- ・引き続き、森林現場におけるスギ花粉の**飛散防止剤の実証試験・環境影響調査**を実施【林野庁】

3. 発症・曝露対策

●花粉症の治療

- ・花粉飛散時期の前に、関係学会と連携して**診療ガイドラインを改訂**【厚生労働省】

- ・**舌下免疫療法治療薬**について、まずは**2025年からの倍増（25万人分→50万人分）**に向け、森林組合等の協力による**原料の確保や増産体制の構築等**の取組を推進中【厚生労働省・林野庁】

- ・花粉飛散時期の前に、飛散開始に合わせた**早めの対症療法の開始が有効**であることを周知

- ・患者の状況等に合わせて医師の判断により行う、**長期処方**や**令和4年度診療報酬改定で導入されたリフィル処方**について、前シーズンまでの治療で合う治療薬が分かっているケースや現役世代の通院負担等を踏まえ、**活用を積極的に促進**【厚生労働省】

●花粉症対策製品など

- ・本年中を目処に、**花粉対策に資する商品に関する認証制度**をはじめ、各業界団体と連携した花粉症対策製品の**普及啓発**を実施【経済産業省】

- ・引き続き、**スギ花粉米の実用化**に向け、官民で協働した取組の推進を支援【農林水産省】

●予防行動

- ・本年中を目処に、花粉への曝露を軽減するための**花粉症予防行動**について、自治体、関係学会等と連携した**周知**を実施【環境省・厚生労働省】

- ・「**健康経営優良法人認定制度**」の評価項目に従業員の花粉曝露対策を追加することを通じ、**企業による取組**を促進中【経済産業省】

タマディック名古屋ビル

名古屋市
まちなみデザイン賞

最上階はフィンラン
ド大使公認サウナ



出所：名古屋市HP

撮影：平井 広行



チーム	建物概要					工事費/m ² 消費税抜き	
	階数	防耐火	工法	建築面積	延床面積	想定金額	他構造比較
福岡県	3	口準耐火建築物1号	木造軸組	613m ²	1,441m ²	32.0万円 [106%]	30.2万円 (鉄骨造)
佐賀県	4	耐火建築物同等 (法21条・61条)	木造軸組	552m ²	2,210m ²	38.0万円 [123%]	30.9万円 (鉄骨造)
長崎県	4	耐火建築物	木造軸組	115m ²	463m ²	27.7万円 [95%] [90%]	29.2万円 (鉄骨造) 30.7万円 (RC造)
熊本県	3	イ準耐火建築物	木造軸組 CLT床	147m ²	412m ²	13.8万円※ [99%]	13.9万円※ (RC造)
大分県	4	耐火建築物同等 (法21条)	木造軸組	124m ²	403m ²	34.8万円 [122%]	28.4万円 (鉄骨造)
九経連	3	イ準耐火建築物	木造軸組	130m ²	390m ²	26.3万円 [99%]	26.4万円 (鉄骨造)

※熊本県の工事費は構造躯体建築工事費の金額とする ©2023 MORI-AGE Inc.

出所：九経連HP

内装での木材利用※

建築物の内装に木材を使った様々な事例を紹介するとともに、建物のオーナー等から集めた木質化による効果の声、研究データ等もあわせて、内装に木材を利用することによってどのような効果が期待できるかを用途別に整理しました。木質化にあたっての留意点も掲載。



川上から川下までの連携事例集

建築物での木材利用促進のための川上から川下までの連携事例について、建築物木材利用促進協定制度や森林環境譲与税による取組、ウッド・チェンジ協議会のメンバーによる取組等を紹介。



建設事業者向け木造化手引き※

これまで住宅以外の木造建築物の建設経験がない建設事業者を対象に、低層小規模建築物の木造化について、企画から施工までの進め方（効率的に実現するための手順や留意点）を整理しました。



各資料は、林野庁HP「ウッド・チェンジ協議会」ページからダウンロードいただけます。

ウッド・チェンジ協議会

検索



※林野庁補助事業を活用し、
(公財) 日本住宅・木材技術センターが作成。

ウッド・チェンジ協議会

出所：林野庁HP

低層小規模建築物の木造化*

地域の材料や加工・施工体制を活用して建築できる2階建ての事務所や、コンビニや飲食店など平屋や2階建ての小規模な店舗の木造モデル設計を提案。木造化の意義や木造建築物事例も多数紹介しています。

中規模ビルの木造化*

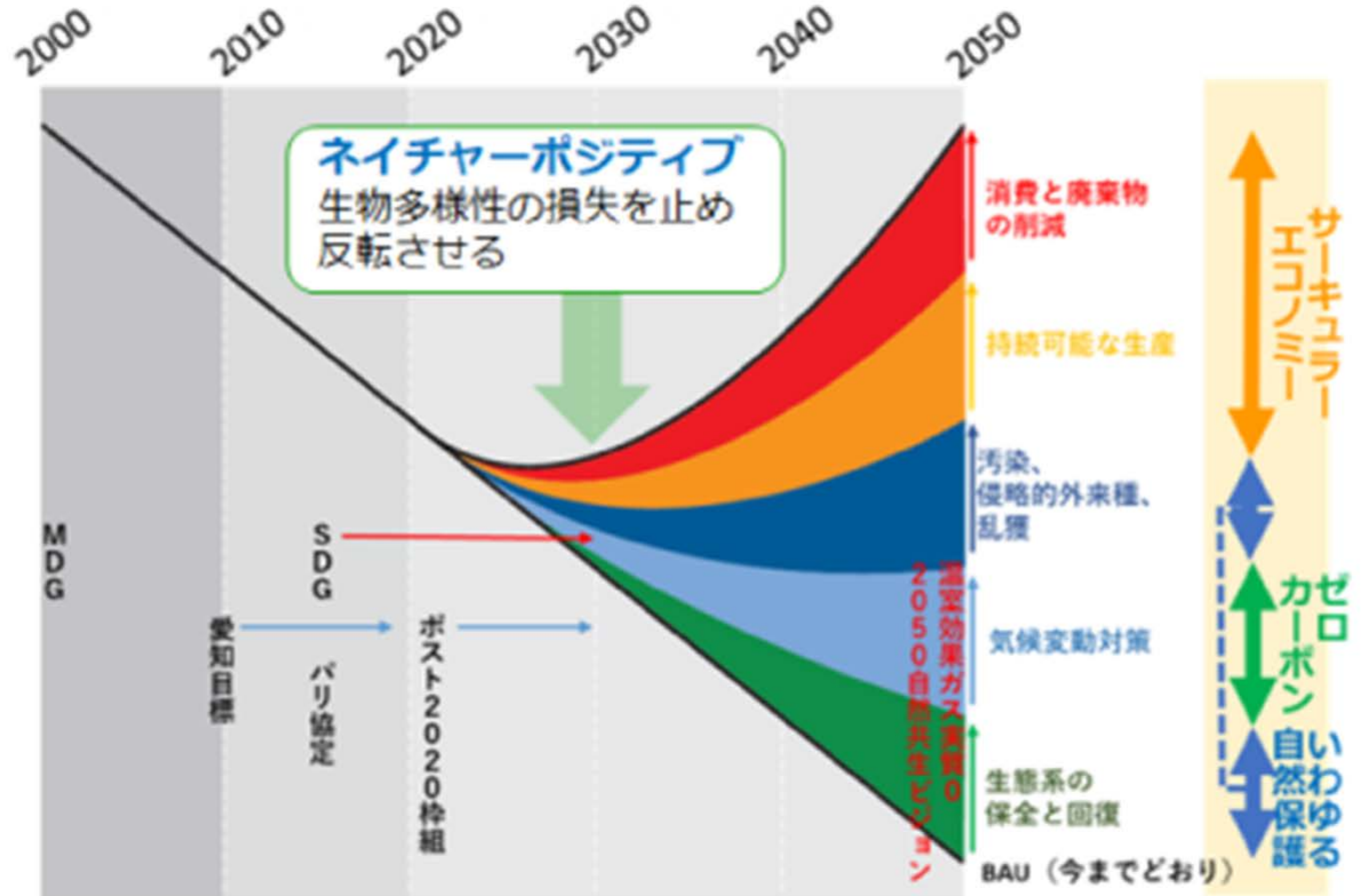
3階建て準耐火構造の事務所の木造化標準モデルの提案、延べ床面積3千m²程度のオフィス設計をテーマとした3～7階建て木造ビルのモデル設計の提案、様々なタイプのホテルの木造化・木質化モデル案を紹介。公共施設、医療施設、教育施設、共同住宅、高齢者施設などにも応用可能です。

高層ビルの木造化

木造の技術面・制度面の発展を受けて、近年、徐々に増えてきた木造の高層ビル事例について、木造としたねらいや効果、技術的な工夫等とともに紹介しています。

生物多様性 ～2030年までにネイチャー・ポジティブ※～

- ◆ 陸域生物の8割は森に生息
- ◆ 日本は世界的にも生物多様性が豊かな国（ほ乳類の4割、爬虫類の6割、両生類の8割は日本にしかない貴重な種類）
- ◆ 森の生態系は里・川・海が多様性保全にも貢献



生物多様性の損失を減らし、回復させる行動の内訳

地球規模生物多様性概況第5版GBO5（生物多様性条約事務局2020年9月）

※2030年までに生物多様性の損失を止め
回復軌道に乗せること

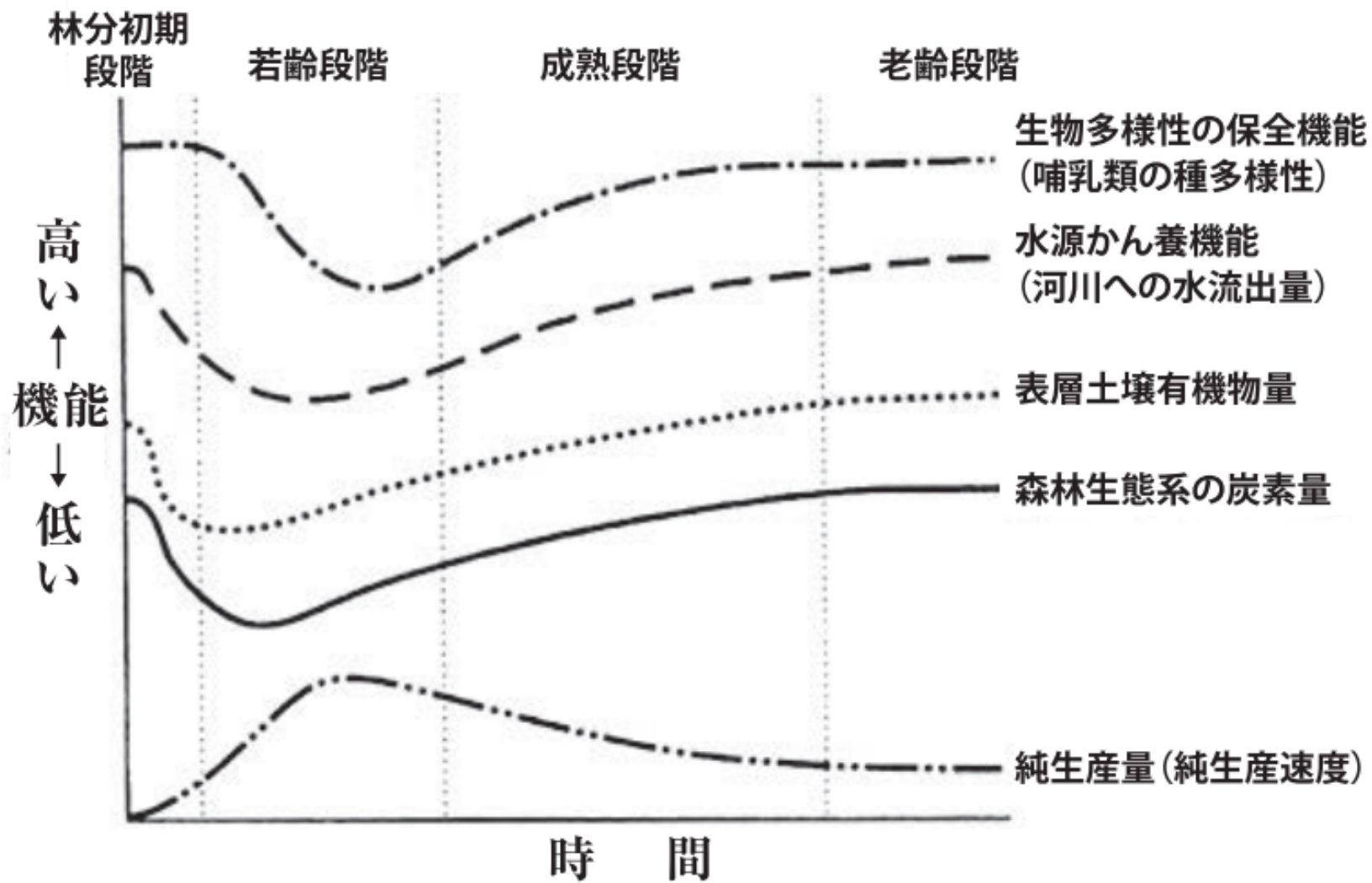


図2-2 林分の発達段階と各種機能の変化との関係(藤森2003)

30 by 30

- 「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」を保護地域内外問わず「**自然共生サイト**」に認定。
- 「自然共生サイト」に認定された区域のうち、**保護地域との重複を除いた区域**を「**OECEM**」として登録。

2030年ネイチャーポジティブ
に向け、2030年までに国土
の30%以上を自然環境エリ
アとして保全

自然共生サイト

民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域
(申請主体：企業、団体・個人、自治体)

申請

自然共生サイト
認定

審査 (認定主体：環境省)

「自然共生サイト」のうち、保護地域との重複を除外した区域

OECEMとして国際データベースに登録

2023.10.6 認定

122か所
(35都道府県)

YKKセンターパーク ふるさとの森

【場所・面積】 黒部市、3.2ha

【申請者】 YKK(株)



田島山業×みんなの森プロジェクト

【場所・面積】 日田市、1.6ha

【申請者】 田島山業(株)



2023 飛驒の家具® フェスティバル関連プログラム

広葉樹活用サミット2023 in 飛驒

開催日時: 10月22日(日) 14:30-16:00

場所: 飛驒・世界生活文化センター(メイン会場)テーマブース内

参加費: 無料

申し込み: 飛驒の家具® フェスティバルの公式サイトより受付中

企画: 株式会社飛驒の森でクマは踊る

主催: 飛驒の家具フェスティバル実行委員会、協同組合 飛驒木工連合会

飛驒地域をモリアゲます



及川 幹 | Motoki Oikawa
広葉樹活用コンシェルジュ



岡田 明子 | Akiko Okada
飛驒産業株式会社 代表取締役社長
飛驒木工連合会 副理事長



長野 麻子 | Asako Nagano
株式会社モリアゲ代表



林 千晶 | Chiaki Hayashi
株式会社飛驒の森でクマは踊る
取締役会長



松原 千明 | Matsubara Chiaki
株式会社木と暮らしの制作所
取締役

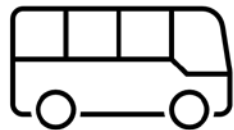


飛驒の家具
フェスティバル



一社一山でウェルビーイング

企業の森のある自治体



森林浴
企業研修

企業版ふるさと納税
人材派遣型
J-クレジット
自然共生サイト



地域材でウッド・チェンジ
サテライト・オフィス
ワーケーション

お客様やお取引先
経営層・社員

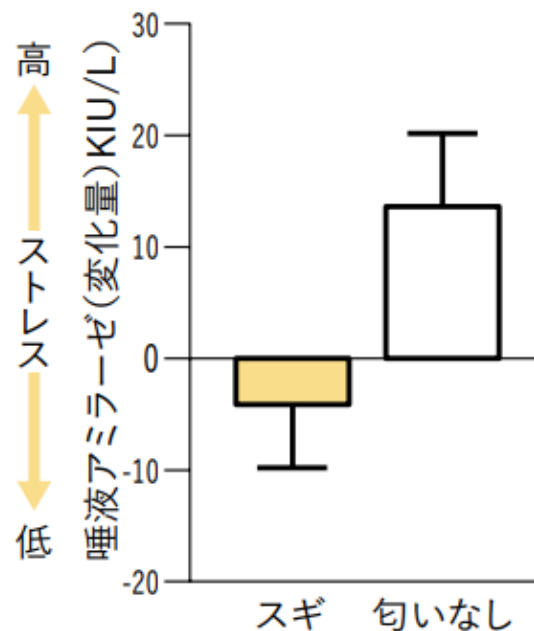


心理面の効果 ① リラックス・癒し効果

木材の匂い（香り）は、**心理的な効果はもちろん、血圧を低下させる等、体をリラックスさせる作用をもっています。**また、**木材への接触によるリラックス効果も確認されています。**

スギ材から揮発した匂いがストレスを抑制したとの報告があります

スギ内装材を設置した部屋において計算課題を実施した際に、作業後のだ液中のアミラーゼの活性化が低下する傾向にあったとの研究報告があります（右図）。大学生16名に対し、スギ内装材を設置しない部屋と設置した部屋で、30分の計算課題を実施した液中のストレス指標となる物質（アミラーゼ）の活性化を計測しました。スギ材なしではアミラーゼが上昇、スギ材ありの場合にはアミラーゼは低下する傾向にありました。アミラーゼは強いストレスを受けるほど活性が高くなると考えられています。アミラーゼの低下は、計算課題によるストレスをスギ材から揮発した匂いが抑制したものと解釈されています。



▲スギ内装材の匂いによるアミラーゼ活性への影響

出典／ Matsubara, E., et al.: Build. Environ., 72, 125-130 (2014)

【効果が期待される建物・空間例】

事務所（自社ビル・賃貸ビル）、研究施設、研修施設、店舗・飲食店、宿泊施設、病院・診療所、子育て・児童施設、学校、展示施設



TOKIO MARINE Career Development Center

\\ 研修施設の共用ホールの例 /

研修の受講者から、研修のあいだの休憩中、木の香りに癒されて、リラックスできるとの声があります。



生産性の効果 ⑮ 作業性・業務効率を高める効果2 (木製家具)

オフィス空間に木製家具を導入することで、仕事に集中しアイデアが出しやすいという傾向が認められています。

集中のしやすさ、発想力の出しやすさに効果が確認されています

天板材質の異なる3種類の大型テーブル(単色白メラミン化粧板・木目調メラミン化粧板・クリ無垢厚3mm単板クリア塗装)で5日働く実証実験を社員18名に実施し、マインドマップによるタスク実験や質問紙による主観評価等を行いました。マインドマップタスク実験結果より、回答数の平均値がクリ単板使用時の方が

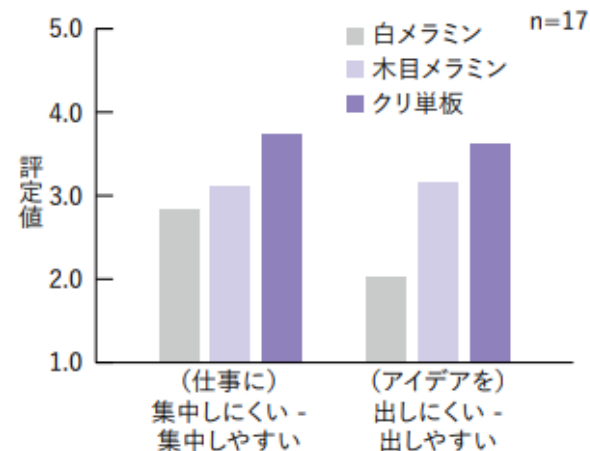


▲被験者実験に用いた単板使用大型テーブル

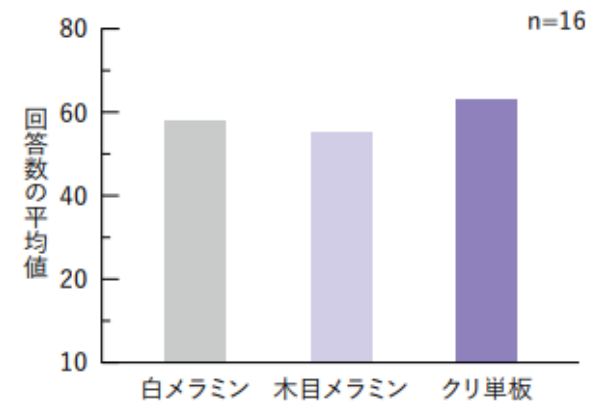
他のテーブルよりもやや高いことから、クリ単板使用時の方が発想力がやや高まると考えられます。

また主観評価の結果では、「集中しやすさ」「アイデアの出しやすさ」について

てはいずれもクリ単板使用時が他のテーブルよりも高い評価となりました。これらの結果より、木製家具使用時には集中力、発想力がより発揮される可能性が示唆されました。



▲集中力・発想力に関する主観評価の結果



▲マインドマップの回答数の平均値の比較

参考「内装木質化等の効果 実証事例集」：オフィスにおける新たな構造を有する木製家具の「効能」検証事(実施者：株式会社イトーキ)



生産性の効果 ⑩ 作業性・業務効率を高める効果 3 (金融機関)

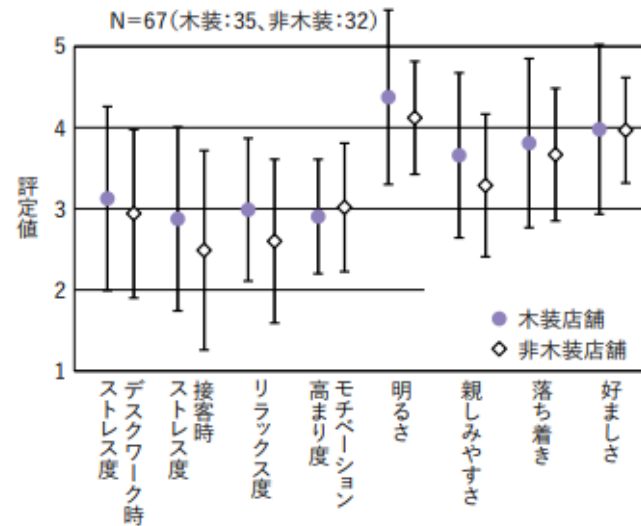
金融機関店舗の木質化によって、精密さが必要な窓口業務のストレスの軽減効果が確認され、職員の作業効率の向上に対して効果が期待されます。

店舗の木質化が職員の生産性向上に寄与する可能性が示唆されました。

金融機関では、精密さが必要な業務によって職員が抱く重圧感が課題となっています。そこで執務・来客空間の木質化が職員の居心地の良さの向上やストレス軽減に及ぼす効果を検証、木装化/非木装化店舗(各2店舗ずつ)で働く職員(67名)に印象評価比較を行いました。

その結果、執務環境に関して、「接客時の非ストレス度」や「リラックス度」「親しみやすさ」の項目で、評価が高い傾向が示されました。

非木装化店舗と比較し、木装化店舗はリラックス度等に良い影響を与える可能性があり、木装化による職員のストレス軽減効果が期待できると考えられます。



▲木装/非木装店舗間の職員印象評価比較

佐藤 泰・安江 仁孝・野々田 幸恵・三輪 愛：地方金融機関における内装木装化に関する印象評価傾向の把握 その2 職員を対象とした調査，日本建築学会大会学術講演梗概集，建築計画，pp.1197-1198，2021.9



豊田信用金庫 高橋支店



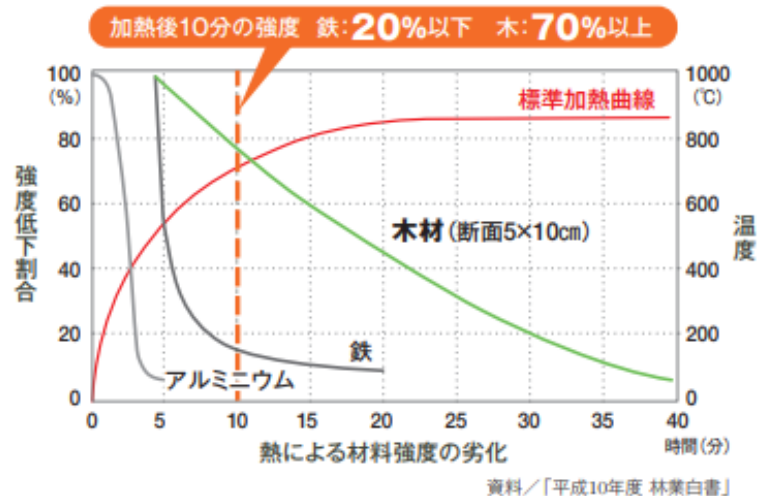
豊田信用金庫 枅ヶ池支店

Q4 木造は火災に弱くないの？



木材は火災環境で強度は低下するものの進行は金属よりゆっくりです

■ 火災時の材料強度



グラフに示すように、加熱され続けた場合、強度は低下する。ただ金属はその進行が急速であるのに対し、木材はゆっくりだ。木材は火にさらされたとき燃え進むのも時間がかかる

木材を燃料にしても、鉄骨やコンクリートを燃料にすることはありません。「木材は燃える」という事実は決して否めません。しかしその燃え方には、特徴があります。左の図に示したように、燃え進むのがとても遅いのです。

燃焼には酸素が欠かせません。ところが木材は、大気に触れた表面が炭化するため、燃え進むにも酸素の供給が妨げられてしまいます。燃え進むのが遅いのは、そのためです。

木造のように木材を建築物に用いた場合、この燃え進む速度が遅いという特性が、重要な意味を持ちます。

火災に対する建築物の安全性とは何か、をあらためて考えてみましょう。守るべきは、人命です。そこで活動している人の命を守るという観点からは、火災に見舞われても余裕を持って逃げられるという点が極めて重要です。そこで求められるのは必ずしも、鉄やコンクリートのように全く燃えないということではありません。逃げられる時間的な余裕を確保できるか否かが問われることとなります。燃え進む速度が遅い木材はその時間的な余裕を十分に確保することが可能です。

むしろ熱によって強度の低下が急速に進行する鉄骨よりも安全と言えます。木材はゆっくり燃えながらも強度を保つのにに対し、鉄骨は燃えないものの強度は落ちる——。そのため鉄骨は耐火被覆を行って火災に対する安全性を確保します。木材も特性をきちんと踏まえて設計すれば、火災に対する安全性はしっかり確保できます。